

施策	7103 市民参画の充実							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	パブリックコメントの実施、まちづくり懇談会の開催等を図る。							
成果指標	まちづくり懇談会等出席者数.....5年間（2018年～2022年）で最終年度に1,500人（現状値1,365人）							
目 標 達 成 状 況		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	成果指標1 [人/年]	予定	1,460.00	1,470.00	1,480.00	1,490.00	1,500.00	
		実績	1,474.00					
	成果指標2 []	予定						
		実績						
	単位コスト							
	成果指標3 []	予定						
		実績						
	単位コスト							
	成果指標4 []	予定						
実績								
単位コスト								
トータルコスト (千円)	予定	597,909	545,841	483,116	0	0		
実績	515,184	545,841	483,116	0	0			
内 部 評 価	貢献度	基本施策がめざす姿である「適切な市民参画機会の確保」「市民と行政の情報の共有化等」を図ることができ、本基本施策の目標達成は大きく貢献するものである。						
	達成状況	市長及び市の執行部と市民が市政について話合う、まちづくり懇談会ふれあいトークを各地域において実施。他、子育て世代・若者世代・高校生を対象にも実施し、意見を伺った						
	課題	出席者の年代性別に偏りがあり、結果、意見や要望も毎年似通ったものとなっている。いろいろな視点からの考えを聞く場を設けることが必要である。						
	取組方針	老若男女が同じ場で同じ課題について意見を交わし合い、より良い市政の方向性を導き出せるような意見交換会の場を設定する。						
外 部 評 価	<p>成果指標である「まちづくり懇談会等出席者数」については、目標を達成しているとあるが、事務事業評価表の「広聴事業費」に記載されている結果指標とにずれがある。「まちづくり懇談会等出席者数」には、まちづくり懇談会の他、子育て世代との意見交換会、高校生夢トークなどの参加者も含まれているとのことであったが、紛らわしいので表現方法を統一して欲しい。</p> <p>まちづくり懇談会の参加者は年代に偏りがある。市民の細部に亘る意見や考えを聞くためには、さらに細分化した懇談会（母子家庭の方・障害のある方・小学生など）を実施する必要があるのではないかと。また、会場の選定に当たっては参加対象者が普段から利用している施設に出向くことで参加しやすくなるのではないかと。</p>							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	673201	広聴事業費				8,852	100	
	670301	市政功労者表彰等事業費				2,568	1	
	670601	選挙管理委員会運営費				4,750	1	
	670701	選挙啓発費				2,611	1	
	670801	市長及び市議会議員選挙費				108,987	1	
	671001	土地改良区総代選挙費（東部）				1,546	1	
	671301	県議会議員選挙費				12,633	1	
	679101	議員人件費				211,708	1	
	679201	議会運営費				98,728	1	
719001	市議会議員共済会負担金				62,801	1		

単位施策評価表 補表

施策	7103 市民参画の充実		
区分	妥当性	妥当	市民の市政への参画手段として妥当である。
	コスト削減の余地	有	広く市政への参画を呼び掛けていくことが必要であり、コストの削減余地はないと考える。
	受益者負担	適正	市政への参画について、受益者負担を求めるものではない。
	上位貢献度	有効	まちづくり懇談会は市民と行政の協働について有効である。
	類似事業の有無	無	市政に対する意見等を執行部と直接やり取りする事業は他ではやっていない。
	成果向上の余地	有	まちづくり懇談会の出席者は年代別のかたよりがあるので、各年代別の開催を検討する必要がある。
内部評価	貢献度	住民参加の満足度の向上にあたり、まちづくり懇談会の出席者が増えることで、市民の市政への参画を促すことができるため、その貢献度は大きい。	
	達成状況	まちづくり懇談会の出席者数については、目標は達成している。また、子育て世代と市長が意見交換をする子育て世代ふれあいトークのほか、若者世代ふれあいトーク、高校生夢トークなどの世代別、テーマ別のふれあいトークを実施した。	
	課題	まちづくり懇談会の出席者については、年代別等に偏りがあり若者や女性など広い世代にわたって参加できる仕組みを構築する必要がある。	
	取組方針	より多くの市民の方がまちづくり懇談会に参加してもらうために、実施後にアンケート調査を行い、開催日数や時間、場所について再検討するほか、各種媒体により参加を呼びかける。また、まちづくり懇談会の出席者に偏りがあるとの課題について、広い世代が参加できる仕組みを構築するよう努める。	